

# 青少年交換プログラム 送別会・歓送会

青少年交換委員会 直前委員長

**角谷真枝** (茨木西RC)



6月15日17時30分より、市内シティプラザ大阪ホテルにて来日交換学生5名(1名は6月3日に帰国)、派遣学生4名(1名は修学旅行中の為欠席)の為の歓送会がおこなわれました。

まず最初に、過去に地区の青少年交換委員をつとめられ、ホストファミリーのご経験も豊かな泉博朗GEより暖かいご挨拶を頂きました。続いて、受け入れ校、ホストファミリーの方々に委員長より感謝状贈呈を行いました。

引き続き、8月初旬にはそれぞれの派遣国に出発する派遣生が、パワーポイントを使用し、自己紹介を行いました。これは派遣国での予行演習を兼ねています。彼等の10か月間のオリエンテーションは、素晴らしい成果を示してくれました。引き続き、派遣生各人が自己アピールの為のパフォーマンスを披露、前田真樹君(寝屋川RC)栗正絵美さん(城東RC)は二人でピアノの連弾演奏、高橋収君(茨木西RC)は駒まわし、重富崇人君(守口RC)は空手の型で笑いをとっていました。

続いて6月30日には全員帰国してしまう来日学生の

登場です。アメリカ・カリフォルニアからの来日生アンドレ・レイト君は一段と上手になった日本語で感謝を述べ、来日時には日本語が全く喋れなかったフランスからのヨアン・ドアイオン君は、大阪弁を交えて「又日本にきます」と挨拶。アメリカからのクリスティーナ・ピッコロさんリンゼー・ヤムリックさんも1年間お世話になった方々に感謝を述べました。

一番圧巻だったのはフィンランドからの来日生サラ・カウピネンさんです。彼女は白地に赤の花模様の一重の和服を着て、(なんと驚くことに、彼女は一人で着物の着つけができるのです)インターネットで聞いて覚えたという「月光」の曲を、ピアノで堂々と演奏しました。あらためて、今世界で注目されている、フィンランド教育の成果の高さに驚かされた次第です。そして今年は今来日生への修了書授与を、ローテックス発案で日本式の卒業式のように「仰げば尊し」を演奏して行いました。

ローテックスの皆さんから、金本委員、委員長の私、今井事務局長に花束と記念品の贈呈があり、最後は「手に手つないで」を合唱し会を終了しました。

